

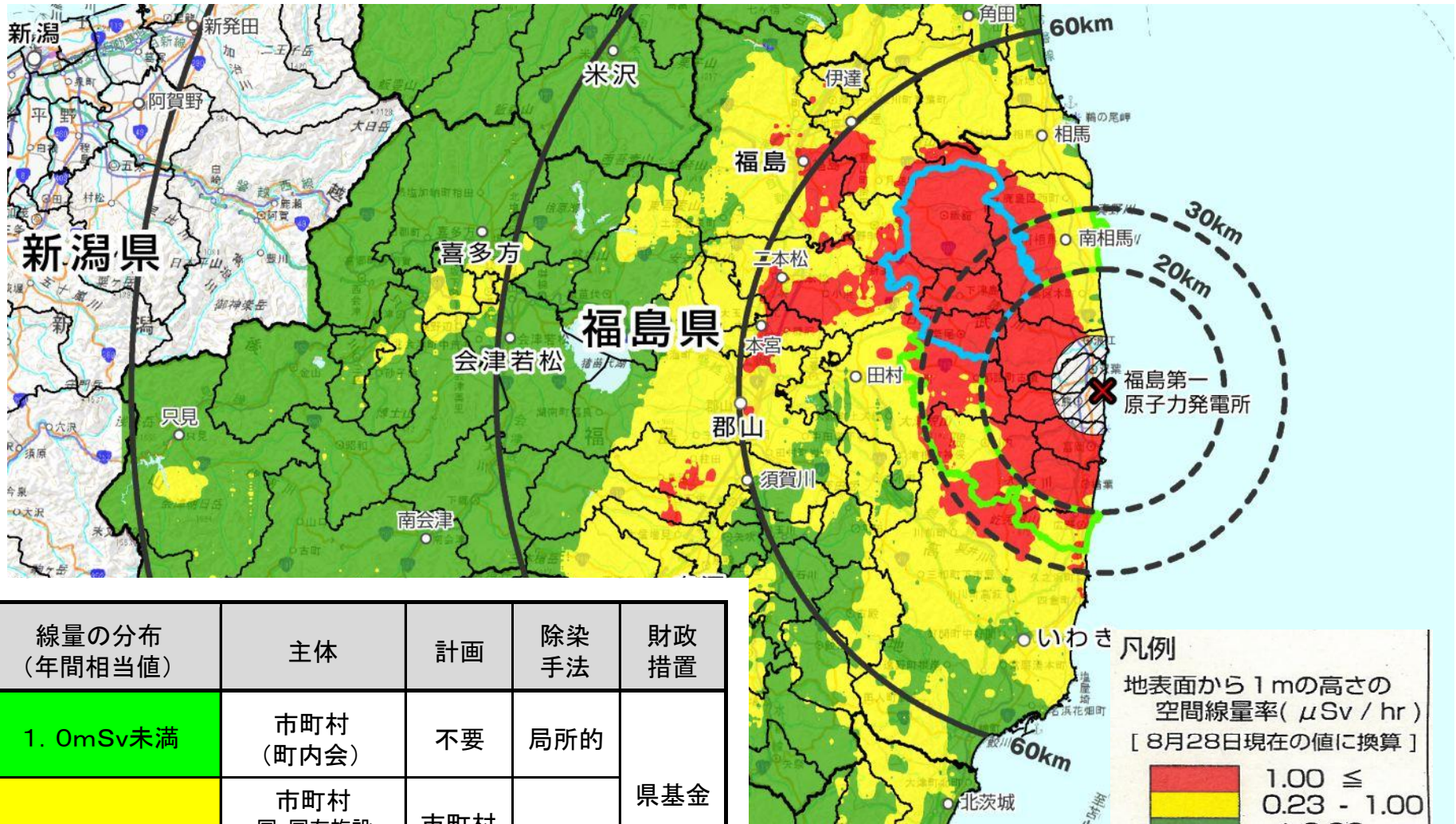


福島県の除染対策について

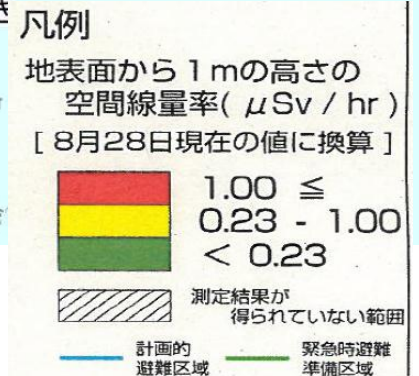
平成24年2月12日

福島県生活環境部除染対策課

福島県の汚染の状況



線量の分布 (年間相当値)	主体	計画	除染 手法	財政 措置
1.0mSv未満	市町村 (町内会)	不要	局所的	県基金
1.0mSv~	市町村 国:国有施設 県:県有施設 等	市町村 計画	面的	
うち警戒区域・計 画的避難区域	国	国計画	面的	国



除染実施に向けた枠組み

原子力災害対策特別措置法の下での取組

除染に関する緊急実施基本方針
+ 市町村による除染実施ガイドライン

8月26日 原子力災害対策本部決定

9月9日 東日本大震災復旧・復興予備
費約2,200億円の確保

市町村等計画
策定

市町村等による
除染開始

福島県
除染実施に向けた各種取組

- ①財政支援
- ②技術的支援
- ③人的支援

順次移行

放射性物質汚染対処特措法

8月26日 議員立法により成立
8月30日 公布・一部施行

基本方針の閣議決定

地域指定の要件、処理の基準等の
政省令制定

汚染状況重点調査地域の指定

平成24年1月1日 本格施行

市町村等の除染実施計画策定

市町村等による本格除染の実施

除染推進に向けた支援の枠組み

1. 事業者等の育成の加速化

2. 技術的支援の強化

3. 住民理解の促進

1. 事業者等の育成の加速化

○除染業務講習会の開催

- ・日程等：H23年10月～
県内5方部で15回開催予定
- ・対象者：除染業務従事者
約3,600人

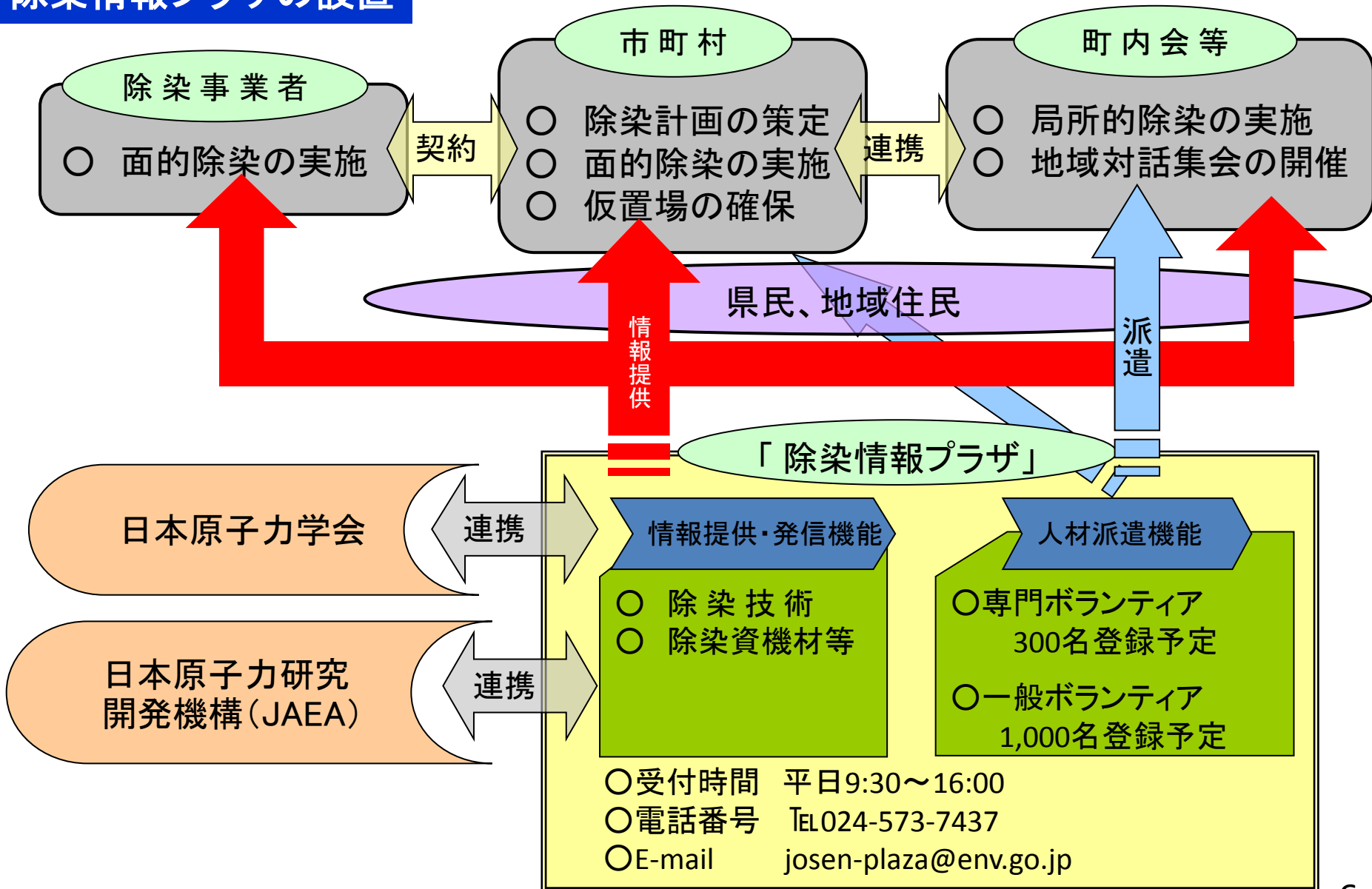
○放射線・除染講習会の開催

- ・日程等：H24年1月～
県内7方部で30回開催予定
- ・対象者：地域で放射線測定や
除染活動を実施する団体の
リーダー等
約3,000人



2. 技術的支援の強化①

除染情報プラザの設置



2. 技術的支援の強化②

線量低減化対策に係る手引き

- 通学路などの身近な生活空間において放射性物質による汚染の除去のための活動を行う際に必要な事項を定めた手引きを作成(平成23年7月15日)
- 地域住民の受ける放射線量を低減させるため、一般住宅の除染について追加した手引き(第2版)を作成(平成23年10月31日)



2. 技術的支援の強化④

面的除染モデル事業

1 事業の概要

国が示した「市町村による除染実施ガイドライン」に示されている除染方法を用いて、家屋、道路、農地、森林等を含む一定の区域を面的に除染することにより、効果的な除染方法と面的な除染による放射線量低減の効果を検証する。

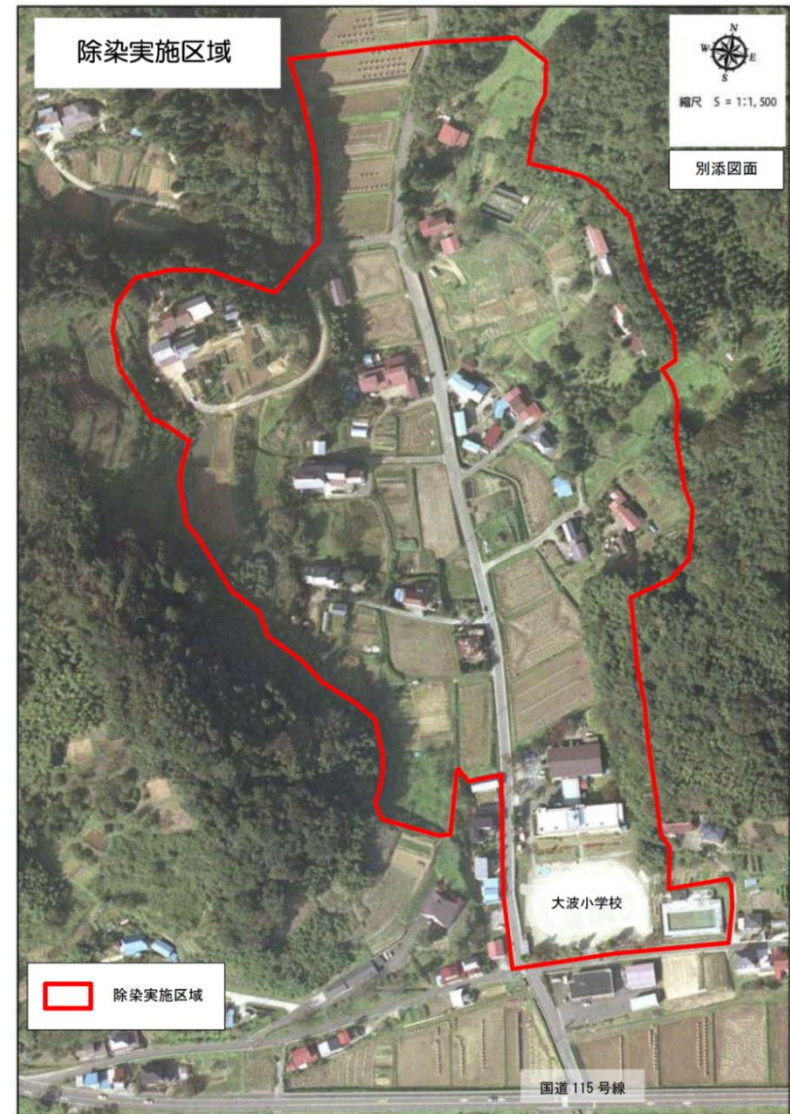
また、検証結果に基づき、今後、市町村が実施する大規模な面的除染を進める際の手引書等を作成する。

2 実施場所及び面積

福島市大波地区 約10ha

3 事業期間

平成23年11月～平成24年2月



2. 技術的支援の強化⑤

除染技術実証事業

1 事業の概要

優良な除染技術を公募し、県が除染実施前及び実施後の放射線量等を測定し、技術の評価を実施することなどにより、除染の効果的・効率的な方法を普及させ、県内各地における除染活動を促進させる。

2 対象とする除染技術

- | | |
|------------------|-----|
| ①屋根、壁面等の除染技術 | 6件 |
| ②土壌(農地を除く)の減容化技術 | 10件 |
| ③その他の技術 | 4件 |

3 今後の予定

①実地試験の実施

平成23年12月～平成24年2月

②実地試験効果の公表

平成24年3月頃



3. 住民理解の促進

県民の皆さんが抱いている放射線の影響や除染に関する不安や疑問を解消し、安全・安心を醸成する。

○安全・安心フォーラムの開催

・日程等：

第1回 H23.11.27(日) パルセいいざか

第2回 H24.1.29(日) 郡山女子大学

第3回 H24.2.12(日) ロイヤルホテル丸屋

第4回 H24.2.19(日) いわき明星大学

・対象者：一般県民 約1,700人

○地域対話集会の開催支援

・日程等：H23年10月～

町内会等单位での集會に専門家を派遣

・対象者：一般県民

第3回
安全・安心フォーラム
～除染の推進に向けて～

特に小さなお子様をお持ちの親御様は毎日の空位線量はもちろん、お子様が遊ぶ公園のこと、毎日の食べ物のことなど心配はつきないと思います。安全・安心フォーラムは、皆様抱えている不安や解らない事に対してお応えし、理解を深めていただくためのフォーラムです。

日程
2012年
2月 12日 日
13:00～17:00 (開場12:30)

会場 **ロイヤルホテル丸屋**
入場無料 どなたでも参加できます

第1部
放射線モニタリングと健康影響
福島県立医科大学放射線医学講座 藤部 勝利

第2部
対話フォーラム(健康影響)
福島県立医科大学放射線医学講座 横山 須美

環境修復に向けて～
放射線除染の必要性と課題
日本原子力研究開発機構 田中 知

対話フォーラム(除染推進)
福島県立医科大学放射線医学講座 大塚 敦子

申込方法：裏面の参加申込書を郵送、FAX又はEメールにてお送りください。
(申込みを済ませなくても入場できますが、事前に申込みされた方を優先させていただきます。)
●PCサイトの応募フォームからも申込みいただけます。[福島県放射線対策] 印刷

主催：福島県・日本原子力学会 共催：南相馬市 協賛：福島県立医科大学放射線医学講座 電話：024-521-8317

除染なくして復興なし

福島に生まれて、福島に育って、福島で働いて、
福島で結婚して、福島で子供を産んで、福島で子供を育てて、
福島で孫を見て、福島でひ孫を見て、福島で最後を過ごす。
それが私の夢なのです。

第35回全国高等学校総合文化祭開会式「ふくしまからのメッセージ」より

一刻も早くふくしまの「ほんとうの空」を取り戻すため、
わたしたちは、これからも挑戦を続けていく覚悟です。